

**第 2 次高知県食の安全・安心推進計画
安全確保のための取組**

(各課別)

平成 29 年 9 月 11 日

高知県

目次

健康長寿政策課	1 ページ
食品・衛生課、高知市保健所	2～6 ページ
県民生活・男女共同参画課	7 ページ
地産地消・外商課	8 ページ
工業振興課（旧 新産業推進課）	9 ページ
環境農業推進課	10～12 ページ
地域農業推進課	13～15 ページ
畜産振興課	16～18 ページ
水産政策課（旧 合併・流通支援課 業務）	19 ページ
漁業振興課	20～21 ページ
水産流通課（旧 合併・流通支援課）	22 ページ
保健体育課（旧 スポーツ健康教育課）	23 ページ

(3) 安全・安心な食品の生産及び供給の支援

1) 食育の推進(計画36P)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
食育に関心を持っている県民の割合	計画	-	90%以上					→ 95%	
	実績	-	48.7%	-	-	-	-	54%	

【平成28年度の実績】

- 1 高知県食育推進計画の推進・・・第1回食育連携推進協議会開催(6月30日)
第2期食育推進計画指標の現状について、第3期食育推進計画の策定に向けて検討
- 2 地域食育推進事業の実施(高知県食生活改善推進協議会に業務委託)
(33市町村)
食育講座・・・89回(小学生71回、中学生13回、保育所・幼稚園等5回)
食育講座後のアンケート・・・回収率71.6%
食育イベント・・・51回のうち やさいの日(8月31日):23回、愛菜の日(1月31日):5回
- 3 減塩の啓発
減塩プロジェクト・・・食品量販店において減塩総菜販売、減塩製品陳列等の実施(34社)
- 4 食育応援店
食育イベントや減塩プロジェクト等に協力(127店舗)
- 5 マスメディアの活用
K+(高知新聞)での減塩啓発
TV広報「健康づくりー口メモ」での減塩、野菜摂取等の啓発

(1) 食の安全・安心のための基盤づくり

2) 調査研究の推進(15P)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
食品衛生に関する研修会の開催	計画	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回以上を目標に継続実施	
	実績	12回	6回	7回	8回	7回	5回	7回	

【平成28年度の実績】

食品衛生監視員の資質向上を目的に、研修を行いました。
また、国主催の研修にも参加させています。

- ①施設実地研修 4回(マル総×1、指名食監×1、HACCP指導者×1、保健医療科学院×1)
- ②研修会 3回(2回(食監研修会(高知、四国))、1回(疫学研修))

(2) 食の安全・安心対策の推進

1) 生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備

②製造・加工・販売段階における安全・安心の確保

ア 食品営業者及び製造施設等に対する監視指導(計画21P)

食中毒、食品の規格基準や表示の違反等の発生状況を踏まえ、重点的かつ効果的な取組を実施します。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
食品衛生監視指導計画の監視指導達成率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績	100%	116%	122%	130%	123%	119%	115%	

【平成28年度の実績】

＜高知市保健所＞ 130%

許可要施設 119%(監視件数3,429件/目標件数2,875件)

許可不要施設 174%(監視件数1,199件/目標件数689件)

＜食品・衛生課(福祉保健所含む)＞ 107%

許可要施設 97%(監視件数4,696件/目標件数4,855件)

許可不要施設 143%(監視件数2,076件/目標件数1,453件)

イ 食品業者等の自主管理体制の推進、支援(計画22P)

食品の安全性確保のため自主衛生管理の確立に必要な情報提供や原材料の仕入れ、保管に関する記録及び自主検査等の実施について助言指導を行います。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
食品業者等を対象とした食品衛生に関する講習会の開催	計画	250回	250回	250回	250回	250回	250回	250回以上を目標に継続実施	※食品・衛生課及び高知市保健所分のみ
	実績	269回	309回	307回	263回	275回	346回	※299回	
食品衛生指導員による食品営業施設の巡回指導	計画	-	47,000件	42,066件	41,080件	41,870件	42,483件	42,000件	
	実績	40,063件	39,124件	39,876件	38,429件	40,321件	41,084件	39,159件	

【平成28年度の実績】

- 食品の安全性確保に向けた自主衛生管理をすすめるため、食品事業者や給食関係者等を対象に講習を行いました。(高知市 91回、食品・衛生課(福祉保健所含む)208回)

ウ 食中毒予防(計画23P)

県内では、毎年食中毒が発生しており、発生件数や患者数は10年前と比較して減少していません。食中毒は飲食店等だけでなく、給食施設や一般家庭でも発生しており、食中毒予防対策を徹底していくことが必要です。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
(再掲)食品衛生監視指導計画の監視指導達成率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	再掲
	実績	100%	116%	122%	130%	123%	119%	115%	
広報媒体やホームページ等による普及啓発	計画	9回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	
	実績	8回	5回	6回	6回	8回	8回	6回	
(再掲)食品業者等を対象とした食品衛生に関する講習会の開催	計画	250回	250回	250回	250回	250回	250回	250回以上を目標に継続実施	再掲
	実績	269回	309回	307回	263回	275回	346回	※299回	
消費者を対象とした食品衛生に関する講習会の開催	計画	75回	80回	80回	80回	80回	80回	80回以上を目標に継続実施	
	実績	108回	117回	74回	50回	87回	112回	76回	
食中毒発生件数	計画	2件 (平成22年)	5件 (平成23年)	5件	5件	5件	5件	減少させる	※食中毒統計については年報
	実績	7件 (平成19~22年の平均)	6件 (平成19~23年の平均)	8件 (H24年)	7件 (H25年)	4件 (H26年)	5件 (H27年)	11件 (H28年)	

【平成28年度の実績】

「食中毒発生件数」(平成28年分) 11件

1/26 ノロウイルスGⅡ(須崎市)

4/1 ノロウイルスGⅠGⅡ(香南市)

5/13 カンピロバクター・ジエジュニ(室戸市)

8/10 サルモネラ・エンテリテイディス(室戸市)

8/14 サルモネラ属菌(四万十町)

9/18 サルモネラ属菌(南国市)

1/17 サルモネラ・エンテリテイディス(高知市)

2/29 カンピロバクター・ジエジュニ(高知市)

4/5 カンピロバクター・ジエジュニ(高知市)

7/10 カンピロバクター・ジエジュニ(高知市)

11/20 サルモネラ・エンテリテイディス(高知市)

③食品等の検査及び検査体制の充実

イ 流通食品の検査(計画27P)

これまでに実施した検査状況や最新の情報を考慮して、計画的に食品の検査を実施し、その検査結果を公表します。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
食品衛生監視指導計画に基づく食品の検査率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績	100%	116%	124%	137%	132%	98%	100%	
と畜場に搬入される牛に対して定めるBSE検査率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

食品衛生監視指導計画に基づく食品の検査率	<p>【平成28年度の実績】 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市保健所 検査率 121%(検査検体数 416検体/計画数 345検体) ・食品・衛生課 検査率 95%(検査検体数 1,461検体/計画数 1,534検体)
と畜場に搬入される牛に対して定めるBSE検査率	<p>【平成28年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・48ヶ月齢超の搬入牛(408頭)に実施し、全て異常ありませんでした。 <p>なお、国内でのBSE対策が進み、平成14年1月生まれの牛を最後に15年間発生がみられなかったことから、平成29年4月1日から健康牛のBSE検査が廃止になりました。ただし、24ヶ月齢以上の牛のうち、生体検査で神経症状等が認められる場合は、引き続きBSE検査を実施します。</p>

(2) 食の安全・安心対策の推進

2) 適正な表示の確保

① 関係法令に基づく食品表示の監視指導(計画28P)

表示に関する点検・指導を行うとともに、食品表示研修会の実施や、「食品表示ウォッチャー」からの情報収集を通じて、食品表示の適正化の推進を図ります。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
(再掲) 食品衛生監視指導 計画の監視指導達 成率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	再掲
	実績	100%	116%	122%	130%	123%	119%	115%	
関係機関による 合同の食品表 示監視指導	計画	-	10回	10回	10回	10回	10回	10回	食品・衛生課 及び高知市 保健所分
	実績	12回	10回	6回	8回	8回	13回	10回	

【平成28年度の実績】

・5福祉保健所において、JAS法所管部署との合同監視を実施した。(食品・衛生課)

② 食品の表示に関する普及啓発

消費者に安心して食品を購入していただけるように、食品表示関係部局等が連携しながら適正な食品表示を推進します。(計画31P)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
関係機関による 合同の食品表 示研修会	計画	5回	6回	6回	6回	6回	6回	6回以上を 目標に継 続実施	※食品・衛生 課及び高知 市保健所分
	実績	5回	6回	4回	5回	※4回	※4回	※4回	
食品衛生講習 会開催時にお ける表示に関 する普及啓発	計画	320回	330回	330回	330回	330回	330回	330回以上 を目標に継 続実施	
	実績	387回	345回	366回	383回	321回	263回	300回	

食品衛生講習 会開催時にお ける表示に関 する普及啓発	【平成28年度の実績】 高知市保健所 78回 食品・衛生課 222回
--------------------------------------	---

3) 認証制度の推進

【加工食品及び食品関連施設】(計画34P)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
高知県食品衛生管理認証制度 認証施設数	計画	→	8施設	※17施設	※20施設	※24施設	※28施設	23施設	※高知県産業振興計画等における目標値
	実績	11施設	15施設	18施設	22施設	26施設	26施設	制度終了(25施設)	
(参考)高知県食品高度衛生管理手法認定制度 認定施設数	計画			※10施設	※20施設	※25施設	※50施設		
	実績		0施設	10施設	15施設	23施設	27施設	制度終了(27施設)	

(参考)高知県食品高度衛生管理手法認定制度については、計画には含まれていませんが、認証に関連した制度として普及をすすめており、参考に施設数等を計上しています。

【平成28年度の実績】

平成15年度からHACCP普及のために取り組んできた「高知県食品衛生管理認証制度」は、平成27年度末で終了し、平成28年6月から新制度「高知県食品総合衛生管理認証制度」(高知県版HACCP)をスタートさせました。

新制度による認証数は平成28年度末で、第3ステージ 16社17施設(23業種)、第2ステージ 30社30施設(33業種)、第1ステージ 13社13施設(16業種)となっており、ステージアップにより重複したものを除くと、全ステージ合計で48社50施設(60業種)となっています。

4) 県民からの相談等による立入調査(計画35P)

県民から食の安全・安心の確保が損なわれる事態に関する相談や情報の提供があった場合は、必要に応じて関係法令や条例に基づき、速やかな措置を講じ、必要な場合は食品関連業者への立入調査を行います。

危害情報等の提供に対する措置(立入調査等を含む)	食品苦情(食中毒の疑い情報を含む)を探知次第、迅速に調査を行い、不適切な取扱いの食品関連事業者があれば指導するとともに、情報提供者に調査結果を報告しました。
--------------------------	--

(4) 食の安全・安心を確保するための相互理解と協働の推進

1) 行政、食品関連事業者、消費者間の情報及び意見の交換、相互理解(計画40P)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
意見交換会(リスコミュニケーション)の開催	計画	-	6回	6回	6回	6回	6回	6回	※食品・衛生課及び高知市保健所分
	実績	6回	6回	10回	10回	9回	9回	7回	

【平成28年度の実績】

- ・高知市保健所 食品衛生月間行事1回
- ・県及び高知市 1回 「海の幸、山の幸の自然毒を知ろう！」
- ・各福祉保健所 計5回
「環境保全型農業の取組について」「食品衛生の取組について」「食育の取組について」
「安全・安心な畜産物の供給」「安全・安心な水産物の供給」

2) 関係機関や関係団体等の連携及び協働(計画41P)

関係機関や団体との連携	【平成28年度の実績】 ・食品衛生指導員の資質を高め、より効果的な巡回指導等に生かすため、(一社)高知県食品衛生協会と連携して研修会を開催しました。(延べ9回469名)
-------------	---

(2) 食の安全・安心対策の推進
2) 適正な表示の推進

2) 適正な表示の確保

① 食品の表示に関する普及啓発(計画31P)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
関係機関による 合同の食品表示 研修会	計画	5回	6回	6回	6回	※1回	※0回	6回以上を 目標に継続 実施	※当課分 のみ計上
	実績	7回	6回	4回	※2回	※1回	※2回	※2回	

【平成28年度の実績】

高知短期大学と連携して実施している「消費生活講座」の中で「表示規制と消費者」、「食と安全」の講座を行い、消費者に景品表示法や、表示の重要性への理解を促した。

(4) 食の安全・安心を確保するための相互理解と協働の推進

2) 関係機関や関係団体等の連携及び協働(計画41P)

関係機関や団体との連携	<p>【平成28年度の実績】 地域農業推進課、中央西福祉保健所の合同監視に同行し、景品表示法の観点から表示の確認を行った。(2店舗)</p>
-------------	--

(2)食の安全・安心対策の推進
1)生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備

②製造・加工・販売段階における安全・安心の確保

イ 食品営業者等の自主管理体制の推進、支援(計画22P)

食品の安全性確保のため自主衛生管理の確立に必要な情報提供や原材料の仕入れ、保管に関する記録及び自主検査等の実施について助言指導を行います。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
食品営業者等を対象とした食品衛生に関する講習会の開催	計画	250回	250回	250回	※14回	※14回	※13回	※6回	地産地消・外商課分連続講座を1講座1回で計上
	実績	269回	309回	※13回	※18回	※14回	※13回	※6回	

※上記の回数は当課分のみの報告です。

【平成28年度の実績】

今後のHACCP制度化を見据え、「HACCP研修(2日間)」を、県内6カ所(保健所単位:高知市、中央西、須崎、中央東、安芸、幡多)で8回実施。受講企業は純計160社、受講者数は269名であった。

「HACCP研修(2日間)」以外にも、HACCPの習熟度を高めるための「HACCP研修(補講)」、HACCPの前提となる一般衛生管理を学ぶ「PRP研修」、食品加工事業者にとって取引先となる量販店等を対象とした「衛生管理指導者研修」、HACCPの意義や必要性を経営者に学んでいただく「トップセミナー」を行い、事業者の基礎知識の向上やHACCP取組への機運醸成に寄与した。

また、HACCP研修の受講者に対して、HACCP導入のための支援として、専門家(HACCPアドバイザー)の派遣を行い、書類作成支援及び現地指導を行うことで、県版HACCPの認証取得を推進した。

(3) 安全・安心な食品の生産及び供給の支援

2) 農林水産物の生産から販売に至る支援(計画38P)

<p>農林水産業の 生産から販売に 至る支援</p>	<p>【平成28年度の実績】 工業技術センター食品開発課職員及び食品加工特別技術指導員が、地域食材を活用した商品開発に取り組んでいる県内の食品関連事業者の巡回及び指導を行いました。商品開発に対して技術的な側面から支援を行いつつ、安全安心な県産一次産物の需要拡大と販路拡大に向けて取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品開発課職員による技術指導件数 1790件 ・ 食品加工特別技術指導員による技術指導件数 121件 ・ 技術研修参加者数 延べ69名
------------------------------------	--

(1) 食の安全・安心のための基盤づくり

2) 調査研究の推進(15P)

安全・安心な農林水産物の生産に関する研究	<p>【平成28年度の実績】</p> <p>(1) ショウガの青枯病は圃場内の菌密度がある一定水準以下では全く発病しなかった。また、現地発病圃場では深さ60cmからも病原菌が検出された。根茎腐敗病の密度抑制効果が認められる10作物を選抜しました。</p> <p>(2) ヒートポンプを用いた湿度制御によりナスの黒枯病の発生を抑えられることができました。</p> <p>(3) シソモザイクウイルスの潜伏期間を明らかにするとともに、露地のオオバや赤ジソが伝染源となる可能性を確認しました。また、シソサビダニに対するスワルスキーカブリダニの捕食能力、各種薬剤や微生物農薬の殺虫効果を明らかにし、マッチ乳剤など3薬剤のシソサビダニに対する適用登録拡大につなげました。</p>
----------------------	--

(2) 食の安全・安心対策の推進

1) 生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備

① 生産段階における安全・安心の確保

ア 安全・安心な農産物(林産物を含む)の生産及び供給

【農薬の適正使用指導】(計画16P)...

農薬使用基準を遵守した適正な使用を推進するとともに、生産履歴の記帳を併せて推進します。マイナー作物の農薬登録を促進します。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
農薬取締法違反による出荷の自粛	計画	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	1件	3件	1件	1件	1件	2件	0件	
生産履歴の記帳率(農協生産部会に属する野菜農家)	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績	94%	96.0%	97%	97%	97%	96%	97%	
マイナー作物の農薬登録データの作成	計画	10件/年	8件/年	6件/年	6件/年	9件/年	8件/年	7件/年を目標に継続実施	
	実績	16件/年	7件/年	6件/年	6件/年	6件/年	10件/年	5件/年	

【平成28年度の実績】

- ・無人ヘリ安全使用講習会(5/12(39名))
- ・商系肥料・農薬組織合同研修会(6/20(50名))
- ・農薬安全使用講習会(7/7:高知市、安芸市、7/8:四万十市(計96名))
- ・安心係養成講習会(7/19:四万十市、7/21:安芸市、7/27:高知市(計148名))
- ・講演会「農薬の効果的な利用法」(7/28:高知市(210名))
- ・農薬管理指導士認定講習会(11/7,8(134名))
- ・オクラ、シシトウに対する農薬登録適用拡大試験を実施しました。

【環境保全型農業の推進】(計画17P)...

化学肥料や農薬の使用を減らし、周辺環境への影響に配慮した環境保全型農業への取組が進められています。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
「こうち環境・安全・安心チェックシート(その1)」(県版農業環境規範)の実施率(農協生産部会に属する野菜農家)	計画	50%	100%	75%	85%	85%	100%	100%	*「こうち環境・安全・安心チェックシート(その1)」のH24実施率については、産振計画2期目の移行に伴い、算出方法を見直した。
	実績	69%	70%	71%**	65%	76%	80%	77%	
「こうち環境・安全・安心チェックシート(その2)」(県版食品安全GAP)に取組む農協数	計画	8JA	16JA	11/15JA	11/15JA	11/15JA	15/15JA	15/15JA	**生物資材防除の普及率のH25計画値で、キュウリは天敵の効果を過大評価していたため、ニラは有望な生物資材の登録が遅れているため下方修正した。
	実績	11JA	9JA	9JA	9JA	9JA	10JA	15JA	
生物的防除資材の普及率	計画			ナス類70% キュウリ30% ニラ10% カンキツ5%	ナス類80% キュウリ20%** ニラ5%** カンキツ5%	ナス類94% キュウリ30%** ニラ0%** カンキツ15%	ナス類97% キュウリ60% ニラ8%** カンキツ40%	ナス類97% キュウリ60% ニラ8%** カンキツ12%**	***ニラは有望な生物資材の登録が遅れているため40%→5%に下方修正。 ****カンキツは温州ミカンでの天敵利用技術の開発が遅れているため40%→12%に下方修正
	実績	ナス類59% キュウリ2% ニラ0% カンキツ1%	ナス類62% キュウリ15% ニラ0% カンキツ2%	ナス類77% キュウリ17% ニラ0% カンキツ3%	ナス類94% キュウリ17%** ニラ0%** カンキツ3%	ナス類97% キュウリ24%** ニラ8%** カンキツ6%	ナス類97% キュウリ33%** ニラ8%** カンキツ7%	ナス類97% キュウリ38% ニラ8%** カンキツ12%	

【平成28年度の実績】

「こうち環境・安全・安心チェックシート」

・点検シートの普及・拡大

直販関係者を対象としたGAP研修の開催(安心係養成講習会 7/20、21、27:計83名)

GAP導入支援研修派遣による指導者の育成(国GAP研修 6/21-24:1名)

・PDCAサイクルの定着

自己点検・他者点検の導入定着化(GAP推進部会での情報共有 5/17)

・県産農産物の品質や衛生管理レベルの向上を目指し、JAグループと連携し「こうち環境・安全・安心点検シートその1(生産者版)」、「その2(集出荷場版)」、「その3(直販所版)」、「品目版」の県内各産地での普及推進を行い、各産地における地域課題(農薬事故、異物混入、腐敗事故の防止等)に応じた取組の拡充・向上を図りました。

この結果、取組は約77%の農業者および15JAに普及しました。

「生物的防除資材の普及率」

・各地域での実証展示ほの設置やIPM技術検討会等の開催、品目毎のIPM技術の確立や、指導マニュアルの作成、土着天敵の活用などを進めることで、IPM技術の取組品目の拡大と県内全域への普及を加速化させました。

(2)食の安全・安心対策の推進
1)生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備

③食品等の検査及び検査体制の充実

ア 生産出荷段階における農畜水産の検査

【農産物の残留農薬検査】(計画24P)

県では、青果市場や直販所における出荷段階の県産農産物の残留農薬検査を実施し、その結果を公表します。

農業団体では、農薬など生産履歴の記帳と併せ、出荷前の自主的な農産物残留農薬検査を実施します。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
生産・出荷段階での検査数	計画	県200検体 農協2000 検体	県200検体 農協2000 検体	県200検体 農協1400 検体	県200検体 農協2000 検体	県200検体 農協2000 検体	県50検体 農協2000 検体	県50検体 農協2000 検体	
	実績	県200検体 農協2000 検体	県200検体 農協2000 検体	県200検体 農協1521 検体	県200検体 農協2000 検体	県200検体 農協2000 検体	県50検体 農協2000 検体	県50検体 農協2000 検体	

※平成24年度は、検査機器の更新のため農協1,400検体を目標数値としています。

【平成28年度の実績】

(1) 県内青果市場や直販所における出荷段階の県産農産物の残留農薬検査を実施し、その検査結果を公表しました(50検体)。

(2) 農業団体では、農薬などの生産履歴の記帳に併せ、自主検査による出荷前の自主的な農産物の残留農薬検査を実施し、安全性を確認しました(2,000検体)。

3) 認証制度の推進

【農産物及び生産者の取組】(計画32P)

消費者に信頼される安全・安心な農産物等の供給を図るため、特別栽培農産物ガイドラインの表示や、環境にやさしい生産方式などに取り組む認証制度を推進しています。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
園芸連主要品目におけるエコシステム栽培に取り組む農家数	計画	-	-	(平成24園芸年度) 3,300戸	(平成25園芸年度) 3,500戸	(平成26園芸年度) 3,772戸	(平成27園芸年度) 3,865戸	(平成28園芸年度) 4,063戸	
	実績	(平成22園芸年度) 1,474戸	(平成23園芸年度) 2,584戸	(平成24園芸年度) 3,256戸	(平成25園芸年度) 3,297戸	(平成26園芸年度) 3,307戸	(平成27園芸年度) 3,589戸	(平成28園芸年度) 3,912戸	

※園芸年度：当該年の前年8月～当該年7月

※エコシステム栽培審査登録は高知県園芸連が実施。(現目標値はH27園芸年度まで設定)

【平成28年度の実績】

・特別栽培農産物に係る新ガイドライン表示に取り組む生産者や環境に優しい生産方式などに取り組む農業者を支援しました。

(3) 安全・安心な食品の生産及び供給の支援

2) 農林水産物の生産から販売に至る支援(計画38P)

【農産物】(38P)

安全で安心な県産園芸品のPR	【平成28年度の実績】 「安全で安心な県産園芸品のPR」 ・安全な農産物の生産を通じて、消費者の安心感をより高めるために、環境に配慮した農業技術の開発、普及、定着への取り組みを進めました。 ・また、県内でのイベント等において、環境保全型農業を紹介するパネルやパンフレット、天敵昆虫(模型・実物)等を活用して環境保全型農業のPRを実施しました。
----------------	--

2) 適正な表示の確保

① 関係法令に基づく食品表示の監視指導(計画28P)

表示に関する点検・指導を行うとともに、食品表示研修会の実施や、「食品表示ウォッチャー」からの情報収集を通じて、食品表示の適正化の推進を図ります。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
関係機関による 合同の食品表示 監視指導	計画	-	10回	※6回	※6回	※6回	※6回	※6回	※食品表示法 (品質事項に関する こと)担当課 分について計上
	実績	12回	10回	※6回	※6回	※6回	※6回	※6回	(H26まではJAS 法)

【平成28年度の実績】

食品表示法の衛生及び保健事項に関することを所管する各福祉保健所及び高知市保健所と同法の品質事項に関することを所管する地域農業推進課、畜産振興課、合併・流通支援課が連携し、直販所や量販店等食品事業者を対象として合同監視を実施することにより、関連法令について併せて指導することで、効果的、効率的な指導を行うことができ、事業者等が適正な表示を行うことにつながった。
(地域農業推進課、畜産振興課、合併・流通支援課)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
関係機関による 合同の食品表示 研修会	計画	5回	6回	※4回	※4回	※4回	※4回	※4回	※食品表示法 (品質事項に関する こと)担当課 分について計上
	実績	5回	6回	※4回	※4回	※4回	※4回	※4回	(H26まではJAS 法)

【平成28年度の実績】

・食品製造・販売者等を対象に、制度の正しい理解と表示の適正化を目的として、「食品表示セミナー」(121名参加)を開催し、食品表示法の施行により従来の表示から変更となった点や新たに義務づけられた点などをポイントとして説明することにより、事業者に情報提供の機会を設けることができた。
(地域農業推進課、畜産振興課、合併・流通支援課、食品・衛生課)
・農産物直販所「安心係」養成講習会を3カ所で開催し、食品表示法、食品衛生法等の表示について研修を実施した。
(地域農業推進課、食品・衛生課、高知市保健所)

(2)食の安全・安心対策の推進
2)適正な表示の推進

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
食品表示ウォッチャーの数	計画	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	
	実績	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	

【平成28年度の実績】

県内の食品販売店等における食品表示の適正化を図ることを目的として、県内各地の一般消費者20名を食品表示ウォッチャー(消費者団体等推薦4名、公募16名)として委嘱し、県内各地の量販店等、幅広くモニタリング・報告を行っていただいたことにより、食品表示の適正化につながった。
また、ウォッチャーの方にも消費者の立場で食品表示についての知識の習得、制度の理解を深めていただいた。

4)県民からの相談等による立入調査(計画35P)

県民から食の安全・安心の確保が損なわれる事態に関する相談や情報の提供があった場合は、必要に応じて関係法令や条例に基づき、速やかな措置を講じ、必要な場合は食品関連業者への立入調査を行います。

危害情報等の提供に対する措置(立入調査等を含む)	【平成28年度の実績】 迅速に調査等を行い指導した結果、不適正表示の是正につながった。 (地域農業推進課、畜産振興課、合併・流通支援課)
--------------------------	--

(3)安全・安心な食品の生産及び供給の支援

1)食育の推進(計画37P)

高知県食育推進計画に基づき、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。
農林水産業と食文化を大切にしたい食育の推進を図ります。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
農林漁業体験学習の取組が行われる市町村の割合	計画	95%	95%	88%	89%	94%	94%	100%	
	実績	85%	85%	85%	88%	88%	85%	調査中	

【平成28年度の実績】

現況調査実施中(地域観光課)

(3)安全・安心な食品の生産及び供給の支援
1)食育の推進

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
土佐の料理伝承人(組織及び個人)の選定数	計画	-	50	63	67	70	70	90	
	実績	56	56	59	60	59	60	60	

【平成28年度の実績】

新たな伝承人の選定には至らなかったが、県域募集で1回、地域内募集で2回と計3回土佐の料理伝承人が講師となる郷土料理伝承講座を開催し、59名が参加した。

(3) 安全・安心な食品の生産及び供給の支援

2) 農林水産業の生産から販売に至る支援(計画38P)

【農産物】

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
県内における農林水産物直販所への「安心係」配置割合	計画			91%	90%	90%	95%	100%	
	実績	81%	87%	84%	85%	86%	89%	87%	

【平成28年度の実績】

直販所142店舗中、123店舗に安心係配置

(1) 食の安全・安心のための基盤づくり

1) 危機管理体制の整備(計画14P)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
高病原性鳥インフルエンザ監視(立入検査)	計画	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	
	実績	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	
高病原性鳥インフルエンザ監視(モニタリング)	計画	720羽	720羽	720羽	720羽	720羽	720羽	720羽以上を目標に継続実施	
	実績	900羽	910羽	960羽	1,080羽	1,010羽	930羽	1,020羽	

【平成28年度の実績】

①養鶏農家への立入検査を全戸対象として実施し、農場段階における適切な飼養衛生管理基準の遵守について指導を行いました。

また、高病原性鳥インフルエンザのモニタリング検査を1,020羽実施しました。検査結果はすべて陰性でした。

②防疫作業動員計画表を平成28年度版に更新しました。

③平成28年11月28日に関係機関や養鶏生産者を対象に、農場への病原体侵入防止対策に係る防疫演習を実施しました。また、県内養鶏場での発生を想定し、平成28年12月26日に県庁職員の動員参集訓練を、また、県職員を対象に防疫服の着脱訓練を実施しました。

平成28年度においては、国内の9道県12農場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されましたが、県内での発生は防止することができました。

(2)食の安全・安心対策の推進

1)生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備

①生産段階における安全・安心

イ 安全・安心な畜産物の生産及び供給(計画18P)・・・ 飼料添加物、動物用医薬品の適正な使用を指導します。
家庭用ワクチンによる自衛防衛を推進し、健康な家畜から安全な畜産物の生産を目指します。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
産業動物診療 獣医師に対する 指導率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績	100% (11名)	100% (14名)	100% (13名)	100% (13名)	100% (11名)	100% (11名)	100% (11名)	
畜産農家に対 する飼料添加 物等の適正使 用の指導率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績	100% (426戸)	100% (401戸)	100% (385戸)	100% (359戸)	100% (351戸)	100% (341戸)	100% (332戸)	
牛の飼養農家 に対する耳標 装着等の指導 率	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績	100% (350戸)	100% (326戸)	100% (312戸)	100% (286戸)	100% (274戸)	100% (258戸)	100% (257戸)	
自衛防疫実績 (ワクチン接種)	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	目標 牛:3,000頭 豚:10,000頭 鶏: 2,000,000羽	
	実績	牛:2,641頭 豚:85,155頭 鶏: 2,890,000羽	牛:4,877頭 豚:109,480 頭 鶏: 1,852,200羽	牛:5,093頭 豚: 123,599頭 鶏: 1,942,500羽	牛:4,918頭 豚: 113,545頭 鶏: 1,386,000羽	牛:4,171頭 豚:118,724 頭 鶏: 1,167,420羽	牛:5,026頭 豚:112,035 頭 鶏: 1,247,370羽	牛:5,381頭 豚:145,165 頭 鶏: 1,605,600羽	

【平成28年度の実績】

- ①動物用医薬品や飼料添加剤の適正使用について、県内全ての産業動物獣医師及び生産者に対し、指導を行いました。
- ②牛トレーサビリティ法に基づく牛の耳標装着と出生・異動報告について、関係機関と協力しながら牛飼養農家全戸に対し、的確な届出が行われるように指導しました。
- ③自衛防疫(農家自らが行う防疫)については、ワクチン接種の推進とともに衛生的で健康的な家畜の飼い方を指導しました。その結果、平成28年度においても、下記の状況を維持しています。
 - ①動物用医薬品等の不適切な使用による残留等がなかったこと。
 - ②牛トレーサビリティ法に基づく牛の耳標装着と出生・異動報告について、故意による不適切な届出などの事案がなかったこと。
 - ③ワクチン接種の不徹底などによる伝染病の発生がなかったこと。

【BSE検査】(計画25P)

24ヶ月齢以上の県内生産農場の死亡牛全頭に対して、BSE検査を実施し、感染牛の摘発と感染経路の究明に努めます。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
BSE検査	計画	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	48ヵ月齢以上の死亡牛全頭	48ヵ月齢以上の死亡牛全頭	
	実績	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭(247頭)	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	48ヵ月齢以上の死亡牛全頭	48ヶ月齢以上の死亡牛全頭	

【平成28年度の実績】
 死亡牛については、BSE特別措置法でBSE検査を受けることが義務付けられています。平成27年度から死亡牛の検査対象となる月齢が48ヶ月以上に引き上げられました。平成28年度においても計画通り、48ヶ月齢以上の死亡牛について全頭検査を行いました。引き続き、生産者や関係団体と連絡を密にし、対象牛全頭に対して検査を行います。

(4) 食の安全・安心を確保するための相互理解と協働の推進

2) 関係機関や関係団体等の連携及び協働(計画41P)

関係機関や団体との連携	<p>【平成28年度の実績】</p> <p>①BSEに係る牛飼養農家全戸全頭の立入検査(NOSAI及び産業動物診療獣医師)</p> <p>②死亡牛BSE検査に係る検体採取補助((一社)肉用子牛価格安定基金協会、(株)JAエナジーこうち)</p> <p>③家畜衛生情報の収集(県内:NOSAI、産業動物診療獣医師/県外:農林水産省、中国四国農政局、動物検疫所、中国四国各県畜産主務課)</p> <p>④ワクチン接種((一社)肉用子牛価格安定基金協会、産業動物診療獣医師)</p> <p>上記関係団体と連携しながら、牛飼養農家全戸への立入検査やBSE検査の円滑な実施、家畜衛生情報の収集及びワクチン接種を行いました。</p>
-------------	---

(2)食の安全・安心対策の推進

1)生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備

ウ 安全・安心な水産物の生産及び供給

【水産物市場の衛生確保】(計画19P)・・・

県内の水産物市場での衛生管理の向上を図り、衛生的で安全な水産物の供給を目指します。

水産物産地市場の衛生管理体制の構築	【平成28年度の実績】
	<ul style="list-style-type: none"> ○室戸岬市場 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港漁場漁村総合研究所及び海洋水産システム協会から講師を招聘し、県東部の産地関係者を対象とした衛生品質管理講習会を開催(8/26) ・室戸岬衛生品質管理協議会の実施(8/19、3/16) ○佐賀市場 <ul style="list-style-type: none"> ・優良衛生品質管理認定取得に向け、高知県漁協佐賀魚市場衛生品質管理推進協議会を開催(5/27、7/22) ・漁港漁場漁村総合研究所及び海洋水産システム協会から講師を招聘し、県西部の産地関係者を対象とした衛生品質管理講習会を開催(8/27) ○清水市場 <ul style="list-style-type: none"> ・市場運営検討委員会で衛生管理について協議(12/13) ○全体 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理についての意識向上と基準設定のため、優良衛生品質管理市場を中心に拭取り検査を試験的に実施(室戸岬市場8回、清水市場1回、田ノ浦市場3回、佐賀市場6回、鈴市場3回)

(1) 食の安全・安心のための基盤づくり

2) 調査研究の推進 (15P)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
貝毒発生検査 モニタリング	計画	状況に応じて実施		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
	実績	貝毒検査: 延べ45回 プランクトン検査:延 べ178回	貝毒検査: 延べ47回 プランクトン検査:延 べ84回	貝毒検査: 延べ49回 プランクトン検査:延 べ174回	貝毒検査: 延べ49回 プランクトン検査:延 べ132回	貝毒検査: 延べ49回 プランクトン検査:延 べ137回	貝毒検査: 延べ35回 プランクトン検査:延 べ104回	貝毒検査: 延べ38回 プランクトン検査:延 べ108回

【平成28年度の実績】

昨年に引き続き、4月から野見湾、浦ノ内湾、浦戸湾及び宿毛湾にて貝毒プランクトンの調査及びサンプリングした二枚貝の麻痺性貝毒、下痢性貝毒についての検査を実施し、貝毒の発生監視を行いました。
平成28年3月22日、宿毛湾にて麻痺性貝毒が発生し、同日付で宿毛湾の二枚貝類を対象に採捕及び出荷自主規制措置を講じました。
平成28年11月10日、宿毛湾の麻痺性貝毒が3週連続で規制値を下回ったことが確認され、同日付で採捕及び出荷自主規制措置を解除しました。
平成28年度は、宿毛湾以外の海域では、麻痺性貝毒の発生は確認されておりません。

【動物用医薬品の適正使用】(計画20P)・・・ 養殖業者に対する動物用医薬品の適正使用の徹底を図ります。

水産用医薬品の適正使用・指導の実施	<p>【平成28年度の実績】</p> <p>昨年に引き続き、医薬品の適正使用に関する調査・指導を実施しました。 医薬品の残留検査に関しては、内水面養殖魚(ウナギ)を11月に、海面養殖魚(カンパチ)を2月に実施し、検出はありませんでした。 また、指導会議により28経営体を、巡回指導は12経営体を、その他(魚病診断等)は71経営体を指導しました。</p>
-------------------	--

③食品等の検査及び検査体制の充実

ア 生産出荷段階における農畜水産物の検査

【貝毒の危険防止対策】(計画26P)・・・

貝毒プランクトン調査及び貝毒検査の実施と、万一貝毒が発生した時には関係漁協及び一般県民に採捕自粛などの情報提供を迅速に行います。

貝毒発生時等における一般消費者等への迅速な情報提供の実施	<p>【平成28年度の実績】</p> <p>貝毒発生時には関係機関と連携し、関係漁業協同組合及び県民に採捕自粛等の情報提供を迅速に行うことで、消費者の食の安全・安心の確保に努めました。</p>
------------------------------	--

4) 県民からの相談等による立入調査(計画35P)

県民から食の安全・安心の確保が損なわれる事態に関する相談や情報の提供があった場合は、必要に応じて関係法令や条例に基づき、速やかな措置を講じ、必要な場合は食品関連業者への立入調査を行います。

危害情報等の提供に対する措置(立入調査等を含む)	【平成28年度の実績】 平成28年度は、人体に悪影響を及ぼす恐れのある寄生虫等(アニサキス、ヒラメクトア等)の発生は確認されませんでした。
--------------------------	--

(4) 食の安全・安心を確保するための相互理解と協働の推進

2) 関係機関や関係団体等の連携及び協働(計画41P)

関係機関や団体との連携	【平成28年度の実績】 貝毒発生時には国、関係機関及び発生海域周辺自治体並びに漁業協同組合との情報共有を図り、健康被害の発生防止に努めました。
-------------	--

(3) 安全・安心な食品の生産及び供給の支援

2) 農林水産業の生産から販売に至る支援

【水産物】(計画39P) ……県では、生産者自らの流通・販売に関する取組を補助する事業を行っていますが、この場合に生産者が安全で安心な水産物を供給するよう指導します。

<p>鮮度保持技術の普及・支援</p>	<p>【平成28年度の実績】 (室戸漁業指導所地区) ・大型定置網経営体を対象に、①高鮮度処理(即殺・血抜き・神経締め)の技術指導、②魚艙内の水温上昇による鮮度低下を防ぐため、魚艙内海水を循環させ温度の均一化を図る試験、③スラリーアイスを用いた漁獲物の高鮮度試験を実施した。</p> <p>(土佐清水漁業指導所地区) ・黒潮町佐賀漁港の小型底びき網漁業者を対象に、漁獲物の鮮度を保持するため、漁獲直後から市場に水揚げするまで漁獲物に海水を散水し、市場での選別作業時に海水水浸漬する方法の技術指導を実施した。 ・黒潮町鈴、土佐清水市以布利、窪津の大型定置網経営体を対象に、高鮮度処理(血抜き、神経締め等)に関する技術指導を計14回(鈴6回、以布利3回、窪津5回)実施した。</p> <p>(宿毛漁業指導所地区) 大月町古満目の大型定置網経営体を対象に、漁獲物の高鮮度処理体制に関しての協議及び、船上での高鮮度処理(神経締め)に関する技術指導を計4回実施した。</p>
---------------------	---

(3) 安全・安心な食品の生産及び供給の支援

1) 食育の推進(計画37P)

高知県食育推進計画に基づき、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。
こうち農林漁業と食文化を大切に食育の推進を図ります。

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
朝食を必ず食べる児童生徒の割合	計画	-	小学生95%以上 中学生90%以上 高校生85%以上	小学生93%以上 中学生83%以上 高校生76%以上	小学生93%以上 中学生84%以上 高校生76%以上	小学生93%以上 中学生84%以上 高校生76%以上	小学生93%以上 中学生84%以上 高校生80%以上	小学生95%以上 中学生90%以上 高校生85%以上	平成26年度実績より「児童生徒の生活スタイルに関する調査」の「朝食を必ず食べる児童生徒の割合」から「高知県体力・運動能力、生活実態調査」の「朝食を毎日食べる児童生徒の割合」に変更
	実績	小学生90.5% 中学生80.7% 高校生75.2%	小学生92.0% 中学生82.8% 高校生75.7%	小学生91.3% 中学生83.2% 高校生74.7%	小学生90.1% 中学生82.2% 高校生73.7%	(男子) 小学生87% 中学生81% 高校生77% (女子) 小学生90% 中学生81% 高校生80%	(男子) 小学生87% 中学生82% 高校生78% (女子) 小学生88% 中学生81% 高校生79%	(男子) 小学生86% 中学生80% 高校生78% (女子) 小学生85% 中学生79% 高校生82%	

【平成28年度の実績】

- ・食に関する指導の年間指導計画の作成普及
食育・学校給食連絡協議会、教育センター研修(新規採用栄養教諭研修)における普及
体育・健康アドバイザーによる課題のある学校等への支援
- ・給食の時間における食に関する指導の推進
「給食の時間におけるちよこっと食育」リーフレットにより、各研修会等における普及
- ・スーパー食育スクール事業の普及
取組リーフレット、わくわく朝食レシピの作成、配布
- ・高知県体力・運動能力、生活実態等調査結果の活用
7月調査実施

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
学校給食における地場産物の活用(食品ベース)	計画	-	40%以上	45%以上	45%以上	45%以上	45%以上	50%を目標に継続実施	
	実績	H21 44.1%	H22 40.1%	H23 41.1%	H24 38.5%	H25 39.9%	H26 35.7%	H27 32.6%	

【平成28年度の実績】

- ・コンテスト等への参加支援
第11回全国学校給食甲子園において入賞
香美市立香北学校給食センター
- ・「高知の食べものいっぱい入っちゃう日」の取組の普及
平成27年度実績をホームページに掲載

